



予算特別
委員会

質疑161問・6時間58分

委員長 奥山勝吉
副委員長 関千鶴子

予算特別委員会とは：当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、6つの特別会計と2つの事業会計があります。3月12日と13日の2日間にわたり、令和2年度当初予算について審査しました。

歳入
(町の収入)

質疑

不安定な社会情勢、
どうなる税収

菅原委員 暖冬少雪、町内商業施設閉鎖、新型コロナウイルス等は、税収にどのような影響を及ぼすと考えているか。

当局 経済活動に連動する法人町民税や入湯税には、大きな影響が出るかと推測する。また、この状況が続けば、個人町民税の収納への影響が懸念される。新型コロナウイルス等は、予算編成段階で予測がつかず当初予算には加

味されていないが、今後対応が生じると思われる。
国県の情報や対策等を視野にいれ、町内経済状況を把握しながら、緊張感を持ち対応する。

生かせ森林環境与
税

小口委員 この税金は、森林地帯を保有しない自治体にも配分されるが、連携する他自治体の森林整備のため活用する、ともされている。取り組みは。

当局 人口割がベースのため、首都圏への配分額は大きい。連携している三鷹市には、この税金を活用し、市の公共施設等に町産材を使ってもらえるよう取り組んでいく。

歳出
(町の支出)

質疑

総務費

公用車の備品は何か

横山委員 車両購入と併せて一般備品が計上されている。何を購入予定か。

当局 ドライブレコーダーを購入する。現在は35台が未設置であり、今後3年間で全車両に配備する予定。

区長等に対する町長の
思いを

金田委員 区長の立場について、12月定例会で条例を制定した。

改めて町長の思いを伺う。

当局 条例制定により地位を明確にした。地域内での重要な役割があり、期待する。

山形鉄道への財政支
援は

金田委員 フラワー長井線に対する、これまでの負担額は。

当局 現在の沿線市町・県の年間負担額は8400万円で、これまでの累計は、45億9000万円である。本町の現在の負担割合は

16%で、年間1344万円である。

実証実験に期待

丸川委員 デマンドタクシーの置賜総合病院への実証実験の期間は。また、実験の考察と公開は。

当局 期間は6カ月程度と考え、町、国、道路管理者、地域住民等で組織する、地域公共交通会議で検証し、町報等で知らせる。
菅原委員 通院費、交通費、送迎費は医療費控除の対象だが、領



みんなで使おう長井線